

2000年基準企業物価指数における調査価格の変更実績（2005年7～9月中）

1. 調査価格の変更件数

( )内は前年、[ ]内は全体の調査価格数<2005/9月時点>

主な類別	件数	主な品目名
国内企業物価 [5,516]	271(332)	
電気機器	74( 88)	パーソナルコンピュータ、携帯電話機・PHS電話機、搬送装置、ビデオカメラ、汎用コンピュータ・サーバ、モス型メモリ集積回路、電気洗濯機、電子レンジ、カーナビゲーションシステム、スイッチング電源
一般機器	49( 33)	コンベヤ、印刷・製版機械、家庭用ミシン、複写機、娯楽機器、産業用ロボット、製材・木工機械、旋盤、真空ポンプ、耐しょく性ポンプ、半導体製造装置
繊維製品	27( 18)	セーター、パジャマ、ブラウス、背広服・ズボン類、ポロシャツ・Tシャツ・トレーナー、ふとん、子供服
その他工業製品	23( 21)	おう版印刷物、ルームユニット、モデル・模型品、特殊印刷物、ゴムロール、応接セット・食堂セット
輸送用機器	22( 17)	バス、自動車部品、小型トラック、小型乗用車
化学製品	20( 29)	ポリプロピレン、高密度ポリエチレン、酢酸、乳液、化粧水、モイスチャークリーム、整髪料、感光紙
加工食品	19( 16)	コーンスターチ、ぶどう糖、水あめ、そう菜、ちくわ、揚かまぼこ、ベーコン、水産物漬物、キャンデー
輸出物価 [1,169]	91( 88)	
電気機器	36( 38)	電子計算機本体、カラーテレビ、民生用電気機器、ビデオカメラ・デジタルカメラ、水晶振動子、表示管、電子機器用コネクタ、プリント配線板、集積回路
一般機器	21( 9)	航空機用原動機部品、マシニングセンタ、電動工具、製本機械、半導体製造装置、農業用トラクタ、旋盤
輸送用機器	16( 14)	自動車部品、小型乗用車、普通乗用車、小型トラック、普通トラック、二輪自動車、バス
化学製品	9( 6)	カプロラクタム、エチレン酢酸ビニル樹脂、農薬、循環器官用薬、フェノール・ビスフェノールA
輸入物価 [1,627]	99(113)	
機械器具	43( 38)	半導体素子、ファクシミリ、電子計算機本体、組立品、表示装置、カーオーディオ、自動車用内燃機関部品、ビデオカメラ・デジタルカメラ、録画・再生装置、モス型ロジック集積回路、二輪自動車、自動車部品
繊維製品	25( 28)	パジャマ、ブラウス、トレーナー、セーター、子供服、Tシャツ、コート、帽子、毛布、敷物
化学製品	11( 10)	汎用プラスチック、呼吸器官用薬、血液製剤、化粧品、診断用医薬品、香水・オーデオロン
食料品・飼料	8( 7)	チーズ、ワイン、葉たばこ、オリーブ油、炭酸飲料
合計 [8,312]	461(533)	

(注) 調査価格の変更：調査対象商品の変更、取引条件の変更、調査先の変更、輸出先・輸入元の変更、契約通貨の変更等。

## 2. 新旧商品の品質調整の方法

件、( )内は前年

	国内企業物価	輸出物価	輸入物価	合計
コスト評価法	46( 67)	11( 15)	18( 34)	75(116)
オーバーラップ法	5( 13)	1( 3)	0( 3)	6( 19)
ヘドニック法	10( 8)	7( 5)	6( 2)	23( 15)
直接比較法	63( 76)	13( 11)	14( 19)	90(106)
単価比較法	8( 6)	0( 0)	1( 0)	9( 6)
比較困難	139(157)	58( 54)	57( 53)	254(264)
その他	0( 5)	1( 0)	3( 2)	4( 7)

(注1) 各品質調整方法の内容については、「企業物価指数の解説」の「8. 調査価格 (10)品質調整方法」をご覧ください。

(注2) 「その他」は、契約通貨の変更等。

## 3. 指数上の処理

件、( )内は前年

	国内企業物価	輸出物価	輸入物価	合計
値上げ	51( 31)	11( 9)	7( 8)	69( 48)
保合い	192(248)	69( 71)	75( 86)	336(405)
値下げ	28( 53)	11( 8)	17( 19)	56( 80)

(注) オーバーラップ法(新旧商品の価格差を両商品の品質差とみなして、実質保合いで指数を接続する方法)を適用したケースについても、新しい調査価格が前月に比べ下落(上昇)している場合は、値下げ(値上げ)処理として扱っている。

## 4. その他

### 【 価格調査段階の変更<国内企業物価> 】

( )内は変更を行った調査価格数

類別	品目名	変更内容	実施月
電気機器	携帯電話機・PHS電話機( 1)	卸売 生産者	7月
その他工業製品	牛革 ( 1)	卸売 生産者	7月

(注) 需給の動きや技術革新の影響を含めた価格動向を、よりの確に指数に反映する目的で実施。

### 【 平均価格の採用に関する変更】

( )内は変更を行った調査価格数

類別	品目名	変更内容	実施月
国内企業物価			
繊維製品	ふとん ( 2)	取引価格 平均価格	9月
化学製品	ポリプロピレン ( 1)	取引価格 平均価格	7月
窯業・土石製品	生コンクリート ( 2)	取引価格 平均価格	8月
金属製品	ガス湯沸器 ( 1)	取引価格 平均価格	7月
輸出物価			
一般機器	半導体製造装置 ( 1)	取引価格 平均価格	7月

(注) 取引価格：実際の取引価格。

標準価格：標準的な建値、仕切価格、定価×掛目、料金表価格など、実際の取引において目安とされる標準的な価格。

平均価格：商品あるいは取引条件の異なる複数の実際の取引価格を、それぞれの取引数量で加重平均した価格。

以上